



ニュースリリース（日本語訳版）

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ 次期最高経営責任者(CEO)を発表

2018年9月25日

本日、ブリティッシュ・アメリカン・タバコ p.l.c. (BAT)の取締役会は、現最高経営責任者（CEO）のニカンドロ・デュランテが2019年4月1日付で退任することを受け、現在 BAT の国際事業の最高執行責任者（COO）であるジャック・ポールズが CEO に就任すると発表しました。

CEO 就任に向けてポールズは、11月1日付で CEO 内定者（Chief Executive Designate）に任命され、2019年1月1日付で取締役会の一員になります。

ポールズは2004年にBATフランスのCEOとしてグループに入社、その後マレーシアでBATの上場子会社のマネージング・ディレクターに就任しました。2009年には西ヨーロッパのリージョナル・ディレクターとしてBATの役員会に任命され、その後はアメリカズ・リージョン及びアジア・パシフィック・リージョンのリージョナル・ディレクターを歴任し、2017年に現職であるCOOに就きました。

ポールズのCEO就任に関してBATの会長リチャード・バローズは次のように述べています。「社内外の有力な候補者を慎重に検討した結果、取締役会がBATグループ内からポールズのように経験豊かで力強い後任者の選任に至ったことを嬉しく思います。BATにおけるキャリアを通して、ポールズは事業の成長、生産性の向上、強力な経営チームの構築等において素晴らしい戦略的リーダーシップを発揮してきました。直近では、アジア・パシフィックのディレクター及び国際事業におけるCOOとして、リスクを低減させる可能性のある製品事業を構築するうえで重要な役割を果たしてきました。

彼のイノベーションへの取り組みや異なる地域・ビジネス領域での経験は、ニカンドロ・デュランテが築いた業績を引き継ぎ、BATの新たな歴史を刻むことを可能にするでしょう。」

ポールズのコメント：「CEOとしてデュランテの後を継ぐことを光栄に思います。我々の産業では様々な変化が起きていますが、それは素晴らしい好機でもあり、BATにとってエキサイティングな時です。多彩な能力を持つ社員、魅力のあるブランド、そしてリスクを低減させる可能性のある製品の豊富なパイプラインを持つ今こそ、



この機会を最大限に活かし、多彩なカテゴリーを網羅する、より強固なたばこ・ニコチン事業へと BAT の改革を加速できると確信しています。

そして、卓越したリーダーシップを発揮しているデュランテに感謝します。今日の BAT の強力な姿は、彼の在任期間に当社が成し遂げた著しい進化の証であり、私もその基盤の上にさらなる成長を達成していきたいと思っています。」

ジャック・ボールズ (Jack Bowles) 54 歳

2017 年: 国際事業 (米国を除く) 最高執行責任者 (COO)

2013 年: アジア・パシフィック・リージョナル・ディレクター

2011 年: アメリカズ リージョナル・ディレクター

2011 年: Souza Cruz 社 (当時 BAT 傘下のブラジルの上場子会社) 会長

2009 年: 西ヨーロッパ・リージョナル・ディレクター

2007 年: プリティッシュ・アメリカン・タバコ マレーシア マネージング・ディレクター

2005 年: プリティッシュ・アメリカン・タバコ フランスの CEO として BAT に入社

Enquiries

Press Office

+44 (0) 20 7845 2888 (24 hours) | [@BATPress](#)

Investor Relations

Mike Nightingale / Rachael Brierley / John Harney

+44 (0) 20 7845 1180 / 1519 / 1263